

平成25年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

1. 事務事業の概要

□ 完了 ■ 評価対象 ■ 行計対象

事務事業名 (中事業)	18533 地域づくり推進事業			
基本政策	02 産業が元気！活力とにぎわいあふれるまち（産業・経済）			
政策	03 地域資源を生かした多様な観光と交流の促進			
施策	01 観光資源の整備・発掘と交流イベントの実施			
実施形態	補助・負担金			
事業期間	単年度	平成22年度～		
要求区分	継続	予算区分	政策	
事業の実施を市に義務づける国の法令				
有無	なし			
法令名				
項目				
予算科目	01-020116-010900			
部名	01 ふるさと創造部	課名	02 まちづくり課	
課長名	柳田みどり	T E L		内線

2. 対象・目的・内容

事業概要	<p>広く市民に交流の場を提供するとともに、西脇市の活性化を図り、文化を伝えるまちづくりに寄与することを目的に開催している「にしわき市・黒田庄夏まつり」に対して、支援を行う。</p>
事業の対象 (誰・何を)	全市民及び夏まつり会場に来場する市民
事業の目的 (どういう状態にするために)	盆踊りを中心とした「黒田庄夏まつり」を、西脇市の盆踊り大会として位置付け、市民相互の親睦とふれあいの場を提供し、西脇市のまちづくりと活性化に寄与する。
事業の内容 (どういう内容を行うのか)	<p>(1) 全市民に周知するため、夏まつりチラシの新聞折り込み、市広報の掲載及び防災行政無線放送で呼びかける。また、西脇市連合区長会、各種団体、踊りグループに参加を呼びかける。</p> <p>(2) 黒田庄地区以外の方は、会場までの送迎バスを運行する。</p> <p>(3) 大会を盛り上げるため、福引景品数等の増加及び花火の規模拡大をする。</p>

3. 年度別事業費

(単位：千円)

	事業費	内訳						
		国庫支出金	県支出金	地方債	分担金負担金	使用料手数料	その他	一般財源
平成22年度決算額	800	0	0	0	0	0	0	800
平成23年度決算額	800	0	0	0	0	0	0	800
平成24年度決算額	800	0	0	0	0	0	0	800
平成25年度予算額	800	0	0	0	0	0	0	800

4. 総コストの概算

(単位：千円)

平成24年度のこの事業に従事している職員数		従事職員数	人件費(A)	平成24年度決算額(B)	総コスト (A) + (B)
一般職員	嘱託・臨時職員				
0.05	0.00	0.05	390	800	1,190
事業費の主な用途		補助金			

平成25年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

5. 事業の実績・目標

活動 指標 ①	指 標 名					単 位	
	説 明 や 数 式						
	年 度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目 標 値						
	実 績 値	0					
	経 費 (千 円) 単位当たりのコスト						
活動 指標 ②	指 標 名					単 位	
	説 明 や 数 式						
	年 度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目 標 値						
	実 績 値	0					
	経 費 (千 円) 単位当たりのコスト						
成 果 指 標 ①	指 標 名	まつりへの参加者数				単 位	人
	説 明 や 数 式						
	年 度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目 標 値			2,000	2,000		
	実 績 値	2,000	2,000				
	経 費 (千 円) 単位当たりのコスト	1,190	1,190				
成 果 指 標 ②	指 標 名					単 位	
	説 明 や 数 式						
	年 度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目 標 値						
	実 績 値	0					
	経 費 (千 円) 単位当たりのコスト						
実績・成果 等の説明	黒田庄地区以外の地区からの参加を促すため、バス等による送迎を充実させたことにより地区外住民の参加が若干増加している。						

6. 評価

1 次 評 価	評 価 ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	2	実施主体の妥当性	3
		直接のサービスの相手方	4	受益者負担の適切さ	5	市民ニーズの把握	1
	事業の 総合評価	継続実施					
説 明	市全体の盆おどりとして位置付けたまつりであり、地域への愛着を深めるためにも継続して実施する必要がある。 また、地域の伝統や文化を後世に伝えるための伝承活動としても必要である。						
2 次 評 価	評 価 ポイント	事業の優先度(緊急性)	3	事業の必要性	2	実施主体の妥当性	3
		直接のサービスの相手方	1	受益者負担の適切さ	5	市民ニーズの把握	1
	事業の 総合評価	改善・見直し					
説 明	1次評価の説明にもあるように、市全体の盆踊りという位置づけであり、地域に密着した祭りでもあるので、事業そのものは継続実施が妥当である。市全体の盆踊りという位置づけであるが、参加者の多くが黒田庄地区内の人であり、地区外からの参加者の増加が課題である。黒田庄地区外からバスの送迎を実施したが利用は少なく、地区外からの参加者の増加にはつながっていないため、参加者増に向けた新たな取組を促すべきである。盆踊りがメインの祭りということであるので、踊りコンテスト等を開催するなど、踊りの参加者の増加を図られたい。						